

むすびえ「新型コロナウイルス対策緊急プロジェクト」第4弾

with コロナ時代の居場所とつながり

～一歩を踏み出す、一緒に踏み出す～

1 「こども食堂の現状&困りごとアンケート第2回」結果(別紙)

緊急事態宣言下で行った第1回アンケートに続き、緊急事態宣言後のこども食堂の「今」と「これから」を聞き取る2回目のアンケートを実施しました(6月19～25日実施。37都道府県238団体より回答)。第二波懸念が強い中でのこども食堂の再開状況、3密回避と居場所確保の間で揺れる運営者の悩み、緊急事態宣言下で広く実施された食材配布活動(フードパントリー)の今後などにつき、「こども食堂のありのままの姿」をお伝えします。

2 支援パッケージ(◎は重点項目)

◎ 新規 Jリーグとのコラボ企画「みんなのシン・みつ Project」

3密回避をする新しい生活様式が求められる中、「3密が好きなんよお」というこども食堂に来る男の子の言葉に感化され、スポーツの力、Jクラブの力をつかって、こども食堂を通じた新しい密(シン・密)を共創します。そして、withコロナの時代の新しいつながりや居場所のあり方について、広く社会に提案する企画です。

◎ 新規 こども食堂の悩みを解決する専門相談会の開催と「見える化」

3密回避と居場所の両立を可能にする感染症対策とは? フィジカル・ディスタンスを保ちながら楽しめる「遊び」とは? 一各分野の専門家の知恵を結集して、こども食堂の悩みに応える個別相談会を、オンラインで全国を巡回しながら開催します。加えて、その知恵・工夫・実践例を集積・「見える化」し、こども食堂だけでなく、広く居場所を開催する人々、これから居場所を開こうと考える人たちにコンテンツ提供します。

◎ 継続 「むすびえ・こども食堂」基金第4回助成

こども食堂に安心と楽しみを～三密を回避しつつ楽しい思い出を子どもたちに～

夏祭り、花火大会、プールなど毎年楽しみにしている学校・地域の行事の中止が相次いでいます。長期に渡る休校や外出自粛により思いっきり遊べない子どもたちに、楽しい思い出を届けたい、そんな思いを応援する企画です。BBQ、流しそうめん、駄菓子のつかみ取りや縁日、スイカ割りなど、こども食堂が行う思い出づくりに助成します。

○ **新規** 厚労省二次補正「見守り強化事業」に関する自治体＋こども食堂向けオンラインセミナーの開催(7月22日)

コロナ禍で課題のある子ども・家庭が増えていることに加え、自治体も各種コロナ対応で十分な余力がないことから、官民連携で地域の見守り強化を実現するための予算が国の二次補正で生まれ、こども食堂が明記されました。しかし、こども食堂と自治体の連携はまだ蓄積が不十分であることから、厚労省担当室長から本事業の趣旨等を説明してもらうセミナーを開催し、こども食堂と自治体の連携促進を図ります。

○ **新規** 国産食材の買い支えを通じたこども食堂への食材支援

緊急事態宣言下の休業要請や第二波懸念により、国産食材の消費が停滞しています。生産者と消費者(子ども・家庭)双方に対する食のセーフティネットの観点、および国産食材への理解促進(食育)の観点から、牛肉・メロン等の国産食材を購入し、全国のこども食堂に届けます(実施は秋以降の予定)。

○ **継続** 支援食材・支援物資の募集

3月5日の本プロジェクト開始以来、25の企業・団体からの食材・物資等の寄付を、延べ1400軒以上のこども食堂や地域ネットワーク団体に届け続けてきました。しかし依然として、支援を必要とする多くの子どもや家庭、その人たちを支えるこども食堂があります。お米をはじめ、熱中症を防ぐ飲料、アルコール製剤や非接触型の体温計などの衛生用品が特に必要です。引き続きのご支援をお願いします。

参加者アンケートにご協力ください

今後の活動やイベントの参考にするため、
本日のオンライン会見の感想を、
以下のフォームからご記入いただけますようお願いいたします。



<https://forms.gle/qHPsUR5ZmkHxfNUw5>